

泊まりにおいでよ



その転校生：  
暁美ほむらさんって子も  
魔法少女なの？



そうなんですよ  
びっくりしちやって



キュウベえは  
その子のこと  
知ってる？

いや 僕も知らない  
魔法少女だね



キュウベえにも知らない  
魔法少女っているんだ



そうだね  
本来ありえないはず  
なんだけど……





こんなに良い事は  
ないでしょう？

今までより…  
もつと多くの  
人を救える…



効率よく  
魔女を退治  
できるのよ

チームになれば  
一人一人の  
魔力消費は  
少なくてすむし

心配しないで鹿目さん  
新しい仲間が増えて  
こんなに心強い事は無いわ



カキ

でも大丈夫かな？  
魔法少女が三人も集まって  
グリーンシールドが足りない…  
なんてことには…



憧れ…

正義の  
ヒーロー

ずっと独りで孤独で…  
皆のために戦ってきて…



マミさんって  
かっこいい!!



はい!  
そうですね!

イロツ



ふふっ  
お願いするわ

早速明日  
ほむらちゃんを  
紹介しますね!!

ウエヒヒ♡



ケーキも  
美味しいし

わっく!!

どき

魔法少女に  
なつてよかつたつて  
嬉しくなつちやう

わっく!!

誇らしくて  
自慢に思えて

こんな私でも  
マミさんの  
力になれるのが…





ソウルジェムが  
君達自身だ

……？  
キユウベえ……

それって……  
どういう  
意味なの？

うで取れた

頭取れた

どうもこうもないよ  
君達の肉体はもろくて  
崩れやすいから  
ちよつと戦うとすぐに  
ポロポロになって  
使い物にならなくなるだろ  
それじゃあ魔法には  
勝てないよね

だから僕たちは君達の  
魂を抜き取ってソウルジェム  
へと変えるのさ  
ソウルジェムになれば  
魔力を効率よく運用できるし  
どれだけ肉体が破損しても  
魔力で修理できるから  
気兼ねなく思いつきり戦える  
いいこと尽くめだろ  
ソウルジェムさえ無事なら  
君たちは無敵の魔法少女で  
いられるんだ  
素晴らしいと思わないかい？

安全

安心

じゃあ……なに……  
この体はソウルジェムで  
動かして……？

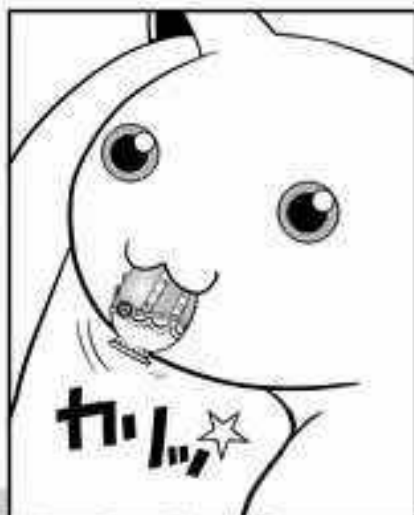
えつと……？  
こつちが  
本体……？

その通り!!

これは滅多にないことだけど  
ソウルジェムが肉体を  
動かせる有効範囲は  
せいぜい100メートル圏内が  
限度だから注意して









解ってくれれば  
いいんだ

返すよ  
マミ

ホロソ



ビク

マミさんが  
死んじゃう!



解ったから!  
マミさんに  
酷いことしないでえ!

やめて!  
もうやめて  
キエウベえ!



魔法少女になったら  
人間じゃなくなるなんて事...  
だったら最初に教えてくれたら  
よかったじゃない

聞いて...  
ないわよ...  
はあ  
はあ



ヒホッ  
ヒホッ  
はあ



それにしても人間って訳が  
わからないよ 魂を具現・可視化  
しただけで感情をむき出しにして  
怒るんだよね 普段魂の存在  
なんて半信半疑で 魂がどうい  
うものかもわかってないくせに

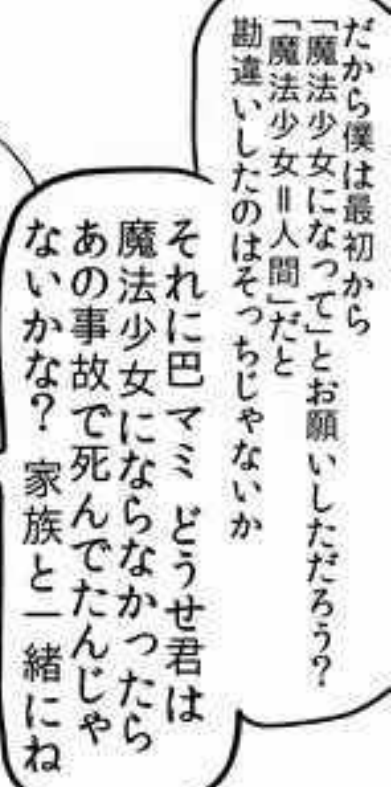


彼女は「ご馳走とケーキ」を  
願いに契約したのよ!  
こんな理不尽なことがあるの!?

だったら!  
鹿目さんは  
どうなるのよ!



どうせ放っておいても  
人間として死ぬんだから  
魔法少女として復活できて  
むしろラッキーじゃないか  
無駄死にするなんて勿体無いだろ  
魔法少女以外の生活は  
人間の時と変わらないんだしね



だから僕は最初から  
「魔法少女になつて」とお願いしただろう?  
「魔法少女≠人間」だと  
勘違いしたのはそっちじゃないか  
それにバマミ どうせ君は  
魔法少女にならなかつたら  
あの事故で死んでたんじゃ  
ないかな? 家族と一緒にね





やだなあ〜〜マミ〜  
今は君の話をしてるんだよ  
それなのにまどかの契約内容を  
持ち出して自分が少しでも優位な  
立場に立とうとするなんてずるいな  
まどかが契約内容に不満を持って  
いるなら それはまどか自身から  
訴えられるべきだ もっともお互い  
合意の上での契約だから 僕が非難  
されることはなんらないけれどね



今日のところは  
僕は消えるよ  
どうやらマミは  
冷静じゃないようだね



バカよね…  
使命感持って  
人のために…  
戦ってきたのに  
かっこつけて  
きたのに  
気がつかないで  
のぼせ上がって  
…浸って  
バカみたい  
じゃない  
こんな石が  
私だったなんて









ムムムム!!



ふえ



…家族も  
助けてって

願わなかった  
のかって…



死んでたわ

きつと…  
あの事故で



私…  
契約して  
なかったら

キユウベエの  
言うことも  
もつともね





それは……!

ぎゅっ



それって  
つまり

事故の時  
とつづくに

人間捨ててた……  
って事なのね

自分で



でもっ!  
その時は……

考える余裕も……  
なかったから

ママさんの所為  
じゃない!!



家族を見殺しに  
したのよ……私



親友がいて

判らないでしようね……  
幸せ家族がいて



願ひ事だつて  
無欲でいられる……  
…鹿目さんには……

ひゃっ!!

ひゃっ!!

ひゃっ!!

ひゃっ!!



いつもの優しい  
マミさんに  
もどっててください!!

だから

後悔なんて  
してません

魔法少女に  
なれたこと  
嬉しいんです

そんなマミさんの  
力になりたくて

憧れで  
尊敬で

私それでも...  
マミさんの事

聞いて  
ください...

は

は

ド  
ウ  
ツ

は

は

それって  
本当かどうか...

確かめさせて  
もらうわね

でも貴女が  
心は誰にも  
犯されないと  
言うから...

は

鹿目さん  
そんなに  
泣かないで

は

私だつて  
こんなコト  
ホントは  
したくない  
のよ...





































パパが作ったの  
食べる？

お弁当いつも  
美味しそうだね

もぐ  
もぐ

一緒に  
お弁当  
食べたり



ほむらちゃん  
とはすぐに  
仲良くなれて

勉強  
わかん  
ないよ  
一緒に  
勉強  
したり



可愛い……



普通の  
中学生に  
気がついてる



ゴメン!  
催促した  
んじや……

いいから

ほむらちゃん  
と一緒にだ



おやあ  
間接キス  
ですかあ

まほん

さやが  
ちゃん

女子同士で  
いけないなあ



食べさせてあげる

うん……

あーん  
して



ちよつぴり  
ドジな  
ところも  
可愛い



魔女戦

ふあふあふあ!!





魔法少女になつてなかつたら  
もっと後悔してたから  
よかつたんです

その友達のいない  
未来なんて  
私は知りたくないから



暁美さんに  
そんな風に  
想われてる  
お友達は  
幸せ者ね

そつ...そつだと  
良いんですが



誰？

東京の  
お友達  
だよ？

今も連絡  
取ってるの？



どうしたの  
鹿目さん？  
早く帰り  
ましよう

私もね  
マミさんの為  
魔法少女に  
なつたんだよ...

一緒だね



魔法少女だつて  
知ってるの？

その友達は  
ほむらちゃんの  
事知ってるの？





私がいる事で  
ママさんが笑って  
いられるなら

私がここに居る事は  
良いことなんだよね

魔法少女になって  
良かったんだよね

その友達のいない未来なんて  
私は知りたくないから



あっ  
鹿目さん？

ひっく

ひっく

ひっく

んっ...

んっ...





マミさんのこと  
ずっと憧れて  
いたかった

ひゅく

よしよし



ごめんない...  
最近... 疲れてて...

魔法少女に  
ならなきゃ  
よかった

このところ  
魔女退治で  
忙しかったものね



実はヨコにお菓子が  
入ってるんですけど

ルマンにエリーゼに  
アルファートにホワイトロイヤル

きっと友達じゃ  
いられなくなる



私がおんなに  
汚れてるって  
ほむらちゃん  
知ったら...

カリッ  
カリッ



こんなのもう  
終わらせたいよ

まどか...



だけど...  
いつまで  
こんなこと  
続けていかなきゃ  
いけないの

ちゅ  
ちゅ  
ちゅ



まどか

まどか



助けて……  
ほむらちゃん

私……  
汚れちゃって  
何もかもおかしく  
なっちゃった

大丈夫  
私が綺麗にして  
あげるから



私が  
守りたい  
のは

貴女なのよ

まどか



ほむらちゃん……!





全部  
綺麗に  
するからね

ちゅる

私が  
さわうて

ちゅる

ちゅる



まよかの  
汚れたとこさ...

指も  
舌も



心も...



わたし...ッ  
私...

ほむらちゃんが...

ほむらちゃん

を



好きっ!!

鹿目さん…

一緒に  
気持ちよ  
くならうね

うん

どうしたら…  
いいの？

んんん  
んんん

ドキ  
うん？

足を  
組んで  
合わせるの

足…  
やだあ…

だめだよ  
んん…  
好きでしょ

んん…  
好きでしょ

はあ…んっ

あっ…

足  
汚いよう

鹿目さんっ!?

んんん  
んんん









都合のいい妄想で  
ほむらちゃんのこと犯してといて  
こんなの友達じゃないよね











ソウルジエム  
のこと...

飛ぶ時はね

落ちる事

考えちゃダメ

飛ぶぞらとて

暁美さんに  
教えてあげた方  
がいいのかしら？

え？

結構

簡単

なかなかな



それも  
そうね...



ママさんと  
私だけの  
秘密にして  
おきたいんです



いいじゃないですか  
教えなくつても



今夜も  
来てくれる？

はい



仕事も終わりましたし  
そろそろ帰りましょ



!

キョウキョウ



ほむらちゃん  
元気ないけど...

疲れちゃった?  
大丈夫?

ううん...  
そうじゃないの

変な事いふかも  
知れないけど...



ぼれてる...?

あつ!!  
違うの!!

あわわ

嫉妬とかヤキモチ  
とかじゃなくって!!

私もそんな!  
目と目で通じ合うような  
お友達になれたらなつて!



...鹿目さんって  
巴さんと仲良いなつて

時々じつと  
みつめ合つてて...  
目配せしてて...



ダメかな?

あのね...  
...その...



夜更かしして  
朝まで沢山  
お話しして...  
そしたらもつと  
仲良くなれるよ

ねえそれなら  
今度ウチに  
泊まりにおいでよ!

もっと  
ほむら  
ちゃんの  
知りた  
な☆



良かった...



お泊りに必要な  
持ち物つて  
何かな?

お泊り  
経験無いから  
どうしたら...?

ほむら?

オツケ!  
なんだね







ほむらちゃんの大切なお友達の事も教えてね…

そっそんな事…ないよ!

もう! ほむらちゃんって可愛い♥



えい

とんっ



ちっ! 違うよお!!

あせ

あせ

私なんかが一番大切な友達になつちやいけなくて…なれるはずもなくて…

もしかして友達じゃなくって恋人だったとか?



嫉妬もヤキモチもしてるのは私のほう

説明しても理解してくれるか…

でも…少し複雑な関係…だから



ママさんのところに行くんだっけ?



ああ…そうだ



普通の友達でいることさえ本当は…

また明日

かば



あせ

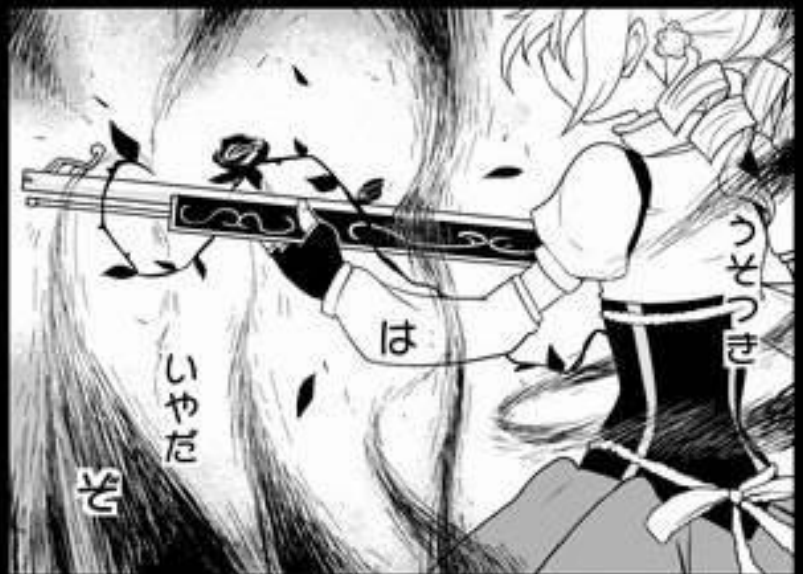
あせ

あせ

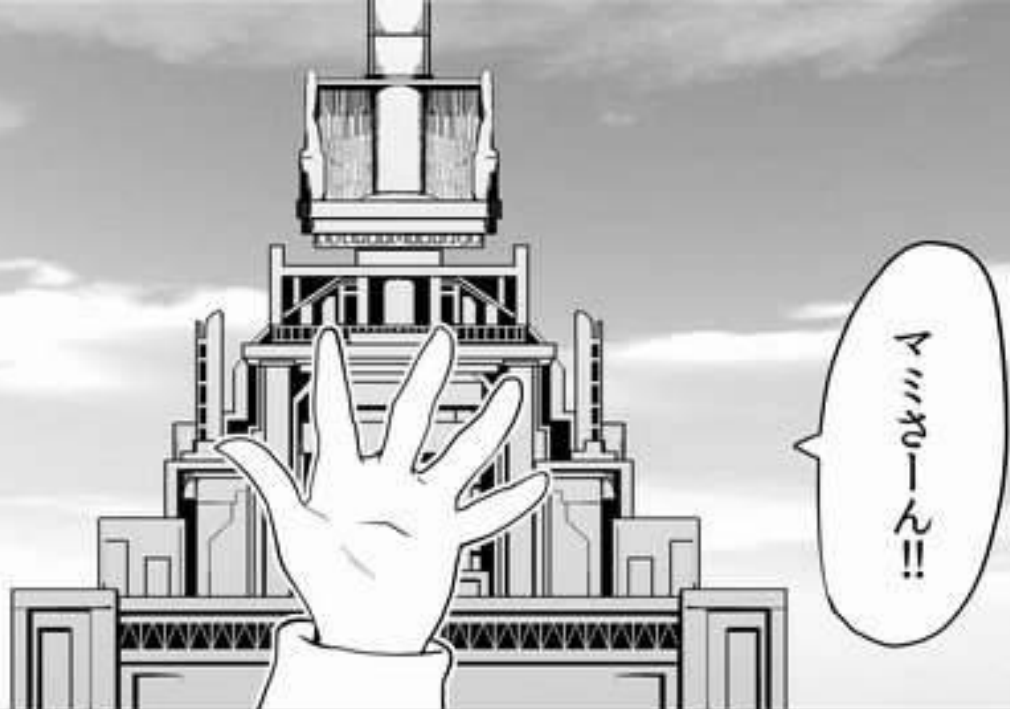
あせ

あせ

あせ







こちらが  
魔法少女  
マミィちゃん

こっちは  
魔法少女  
キユウベえ

紹介するね  
三年生の  
巴マミィさん



ほむらちゃん可愛い〜♡

まあ！素敵ね



ええこの通り

迂闊だったわ…この時点で既に

まどかと巴ミが接触していたなんて



いいなあ私も契約しちゃおっかな〜



救いようの無いゴミン…!!

絶望と破滅へと誘う

そそのかし…

まどかにまわりついて



まったく…忌々しい



やるしかないのね…

無意味だって解ってても…



コイツを殺しても無駄だって







一度入れれば……  
いつ出られるか  
解らない……  
迷路のよう

孤独で……  
寂しくて

信じられるのは  
自分だけ

誰にも  
頼れなくなる

あなたが  
憧れるような  
ものじゃないわ



うん……  
そうね……

ほむらちゃん……

でも……私は  
これから  
巴さんと一緒に  
戦えるから……

寂しくないって  
思えるんです

私と一緒に  
戦ってくださいませんか？

その為には巴マミを  
これ以上まどかに  
依存させない

ええ……

まどかを  
魔法少女に  
させない







まどか以上  
これ以上  
何も知らないまま  
笑っていてね



わっ！  
あそこのアンテナ  
のところがカラスが  
いっぱい……



何か  
食べてるのかな？

ごめん……

どこかから  
持ってきた  
ゴミじゃない？



ごめんね  
まどか……

これが最後  
……だから



そういえば  
キウベえが  
いない……ね

どこ  
行ったんだろ？

あのコ  
神出鬼没だから

まどかが  
笑って  
くれているのなら

私ね……

なんだって  
出来るんだよ……